

里山の木が経済と環境を救う

～薪ストーブから見えてくる、地域の未来～



東近江市のマックスウッド社(回渕享治社長)は薪ストーブの普及を通じて、持続可能な社会への移行を目指しておられます。ポスト京都議定書の議論が盛んですが、私達が燃料や化学製品の原料に使用している石油は有限なものです。さらに地下奥深くからくみ出してきた石油を燃やす事によって大気中の二酸化炭素が増え、地球環境に悪影響を及ぼす事も心配です。投機的な動きで原油価格が高騰することも昨年実際に体験しました。よくよく考えてみると、私達の命に関わる大切な燃料を遠い中東などに頼っているというのは変だし、危ない事と言える

のではないのでしょうか。一方、近くの山にある木を燃料に出来ればそのようなリスクを回避することが出来るばかりではなく、アラブ(実は石油メジャー)に支払う何億というお金が地域で循環し、雇用も生まれます。最近の薪ストーブは技術が進歩し、煤煙やススなどはほとんど発生しなくなっています。北欧の国々が経済発展とCO₂の排出量増加を切り離す事が出来たのも、実は木(木質バイオマス)の活用が主な要因だったそうです。太陽電池や燃料電池のようなハイテクではありませんが、その分今すぐ取り組める内容だと言えます。案外、自社の新しい事業のヒントになるかも知れません。是非お聞き下さい。

「薪ストーブは、環境に優しいだけでなく、人にもとても優しいものです。石油ヒーターと違い遠赤外線で暖めますので、芯から暖まります。家の中で、毎日キャンプファイヤを囲むと団欒が戻ってきます」(回渕氏)

日時 9月24日(木) 18:30～21:00 受付開始 18:00～

会場 八日市ロイヤルホテル 東近江市妙法寺町690

報告者 回渕享治氏 株MAXWOOD・代表取締役

参加費 無料 下欄にご記入の上、9月18日(金)までに参加の可否をお知らせ下さい。

主催：滋賀県中小企業家同友会東近江支部 (連絡先：鹿島奈弥)

TEL：077(561)5333

FAX：077(561)5334

E-mail：info@shiga.doyu.jp

【東近江支部 9月例会 出欠連絡欄】

下記該当項目にご記入下さい。

1. 出席します()名

2. 欠席します()

お名前 _____ 貴社名 _____ 役職 _____

お名前 _____ 貴社名 _____ 役職 _____

お名前 _____ 貴社名 _____ 役職 _____

FAX：077(561)5334 までご返送下さい。